

	<p>第 85 号 発行日 平成 30 年 3 月 17 日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 小寺 淑子 事務局 小野 和子 (E-mail:wako51062@yahoo.co.jp) (HP http://hizasi.web.fc2.com)</p>
--	---



**第2回要約筆記者
 登録研修会報告**

平成 29 年 12 月 24 日（日）9 時～12 時半、大分県聴覚障害者センターにて「第 2 回要約筆記者登録研修会」が開催されました。今年度から始まった専門性の高い意思疎通支援事業についてや、公的機関での合理的配慮の認識不足の話もあり、実技だけでなく制度の担い手として意識を高める研修となりました。

要約筆記講座を修了しましたが、まだ本当に何も分からず、霧の中にいるようです。登録研修会に参加して、要約筆記は、書くことも大切だが、聞く耳がとても大切と言われました。改めて、少しずつ聞き慣れるよう努力しなければと、思っているところです。

「ワコウジ」 「ワコウジ」 「ワコウジ」 「ワコウジ」
お互いの立場を思いやって



登録研初参加！
 （手書き）
 （弘蔵 祐子）

**あせらず、一步一步が確実ですね
 新しい発見ができるのも研修の魅力！**

初めて参加しまして、なんだかスピードが速くて、振り返ってみると、濃い中身だったのでしょけれど、なにもつかめなかったような気がします。次回、参加する機会があれば、事前学習をして、スピードについていけたらと思います。質問時間もあまりとれていなかったのも、あまりよく呑み込めませんでした。ただ、会場への機材等の持ち込みが一人だけになりがちだったのが、みんなで協力するという事になったのがよかったと思います。

登録研初参加！
 （PC）
 （河内山 敬次）

**事例や経験者の体験談を
 いろいろ聞いて、理解を深める手助けに**



由布高等学校 d e 要約筆記ミニ講演



ミニ講座後、参加された皆さんからのアンケートをいくつかご紹介。

保護者

- ・聴覚障害者の方がいた時は、文字でコミュニケーションを取れるようにチャレンジしたい。
- ・障害の有無に関係なく、共に暮らしやすい地域になればいいなと思います。
- ・要約筆記がどういうものか初めて知りました。もっと多くの方に知ってほしいです。
- ・日頃から、意識して書くことに慣れておくことも大切だと感じました。

生徒たち

- ・耳の不自由な人に出会ったら、その人のことをしっかり考えて適切な対応ができるようになりたいです。
- ・耳が聞こえない友達がいるので、コミュニケーションの取り方を考えてみようと思った。
- ・聴覚障害者にただ大きな声を発するだけでなく、筆談や口の開け方に気を付けることで伝わるようになった。
- ・聴覚障害者といっても、色々な聞こえ方、色々なサポート方法もあるんだと分かった。
- ・聞こえない人と交流がなく関心も無かったけど、関心が持てるようになりました。
- ・要約筆記のことを知ることができて良かったです。
- ・聞こえない人に手話ができない人がいることなど、要約筆記を体験できて知ることができて良かったです。

平成 29 年 12 月 15 日、大分県立由布高等学校において、体験学習としての「要約筆記ミニ講演会」を、3年総合進学コースの生徒 27 人、および保護者 5 人を対象に行いました。

講師は池邊恵子さん。陽ざしの会からは他に 4 人が参加しました。

このミニ講演会は、昨年に引き続き 2 回目。前回の評判がよく、今年も講演会をさせていただくことになりました。

おそらく初めてであろう「聴覚障がい」に向き合った生徒たち、その表情は真剣、かつ驚きの連続でした。

この講演会をきっかけにして、聴覚障がいへの理解が深まればと願います。

要約筆記や聴覚障害者の置かれている状況に初めて目を向けて、自分はどうすべきか、どうしたいか、皆さん真剣に考えてくれました。

(久松 久仁子)

全要研大分県支部研修会 開催報告



平成 29 年 11 月 26 日大分県聴覚障害者センターにて、全要研大分県支部研修会を開催しました。大分県環境教育アドバイザーの綿末しのぶ先生を講師としてお招きし、「防災と環境について」をテーマにお話いただきました。



聴覚障がい者と一緒に考える「防災」。今回は地球温暖化、大気汚染物質がなぜ環境に影響を及ぼすか。台風被害（大雨・高潮・暴風）のメカニズム、避難基準、防災グッズなどのお話があった。

近所の子供たちにも知らせたい話は、

- 家庭で最もエネルギーを要するのは冷蔵庫。小さいほうが電気代もかかる。
- 冬には胡瓜は食べないで。夏の 5 倍、体を冷やす。食べるなら温めてから。
- PM2.5 は小さな細菌、ウイルスがくっついて血管から入る。冬から春には要注意。
- シャワー 1 分間で流れる水の量は牛乳パック 12 本分。

昨年末、中央構造断層帯が四国から大分県内にも延びることを国は初めて認めた。今後変更になる箇所もあるだろうが、現在のハザードマップでは、わが家は別府湾を想定震源とする地震の予想津波到達 10m ライン内に入っている。他人ごとではない。



災害からわが身を守るためにできることはなんだろう。環境の変化に敏感になり、このような学びを重ねることだと実感した。（池邊恵子）



ぶんご梅

空前絶後の夫婦円満秘訣

山口智子



「え？これ以上趣味増やすの？」と半ばあきれた口調の、うちの旦那さん。「大正琴を始めるから。」と伝えた直後の事でした。それもそのはず、私のプライベートは予定がぎっしり。では、どんな様子か、ある一週間をご紹介します。

日曜 夜勤明け、大分でボーリング大会

月曜 休み、夜会議で職場へ

火曜 仕事の後、そのまま清川でズンバ

水曜 休み、午前はジム、午後は手話

木曜 夜勤

金曜 夜勤明け、夜竹田でズンバ

土曜 朝宮崎へ車移動、午後は勉強会

夜は実家（宮崎）の母の誕生会

あれ？家で旦那さんとゆっくり夕食食べたの、日曜と水曜の二日しかない・・・。

一年前の今頃、運動不足解消にとジム通いとズンバ（ラテン系の踊り）を始めてから生活が一変したのです。これに大正琴を加えようってもんだから、あきれるのも仕方ない。

でも、私が楽しそうにしてれば、それでいい、と思っっているようで、自由にさせてくれていきます。ありがたや、ありがたや。

女房元気で留守がいい！（笑）

※ぶんご梅は創刊から続いている会員のエッセーです。

陽ざしの会プレゼンツ 秋の うみたまご交流会

恒例の陽ざしの会主催の交流会イベントが、11月18日に「うみたまご」で開催されました。参加したのは難聴者協会1名、夢サラダ4名、その他1名に陽ざしの会の会員を含めた合計13名。楽しい時間を持つことができました。

今回初の試みとして、字幕リサーチャー（視覚情報《ビデオ、DVDなど》に字幕があるか、聞こえの不自由な方への配慮があるかどうかについて調査すること）を行いました。

「ショーでの音声は文字化されるといいね。」というような声があり、対応策等については、今後の検討課題となりましたが、今回の交流会は、聴覚障害者の視点に立って施設を見学し、必要な物は何かを考えるよい機会となりました。



11月の海沿いは寒かったのですが、イルカのショーに大興奮！セイウチのショーには癒やされました。

大きな水槽の中の沢山の魚を見ながら、聞こえの不自由な方が利用しやすいかどうか、ということにも注意して歩きました。

私達では気づきにくいことも、難聴の方々と一緒に、なるほどなるほどと思うところが多く、もっとバリアフリーやユニバーサルデザインが浸透するといいな、と思いました。

そして、今回はiPadを使っての情報保障を体験。

アプリの音声の認識はまだまだ完ぺきではありませんが、内容は理解できるくらいに進化していました。

私は、普段PC派遣がメインなので、ノートテイクの機会がなかなかありません。

利用者さんの顔を見ながらの情報保障も、反応を直接感じることができる貴重な時間でした。

今回は企画部の一員として参加をしましたが、次も沢山の方が参加できるイベントになりますように♪
(梅崎 照美)





陽ざしの会プレゼンツ

秋の うみたまご交流会 に参加して

夢サラダ 藤谷 千賀子

現地集合の内容を見たところ、ワンコインデビューになりそうなので、企画部長さんに集合に間に合うように大分駅からの乗り場や時刻を調べていただきました。ところが、私のところからバスを乗り継ぐと7時には家を出ないと間に合わないことがわかりました。困っていることを友人に話したところ、「車で連れて行くよ」との話になり、陽ざしの会に許可をもらい一転、デビューおあずけで友人と参加することに。前回の鉄輪での交流会も参加した友人だったため、当時の会長さんは覚えていてくれました。

時間になり、「うみたまご」入口で小寺会長さんのスマホ・iPadを使った挨拶、離れていても同じ画面を同時に見ることが出来る技術をいち早く取り入れて、私達難聴者に寄り添ってくれることに頭が下りました。

それからグループに分かれて館内を見て廻りました。食い意地の張った私には、観賞用の魚達さえも、食材の山に見えてきます。「これはサシミかな、塩焼き、唐揚げもいいな。」

昼食時間になり、人ごみの中ではなく、観光客の誰も居ない静かな部屋を用意してくれていました。補聴器を使用しての人ごみは疲れるし、ゆっくりしてもらいたいための配慮でしょう。ゆっくりした時間でした。

アンケートに「館内でのどんな場面での状況が分からなかった？」等あり、これからの活動の参考にするのだらうと思われる内容でした。これも難聴者に少しでも寄り添いたいという前向きな陽ざしの会会員さん達の日頃の活動に頭が下るばかりです。

プレゼントは少し早いクリスマスプレゼントとして嬉しく戴きました。

寒い日でしたが、心あたたまる思いを胸に帰途につきました。これからも楽しい交流会を待っています。よろしくをお願いします。



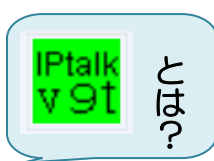
要約筆記の勉強部屋 Par+16

～筆子の覚書～

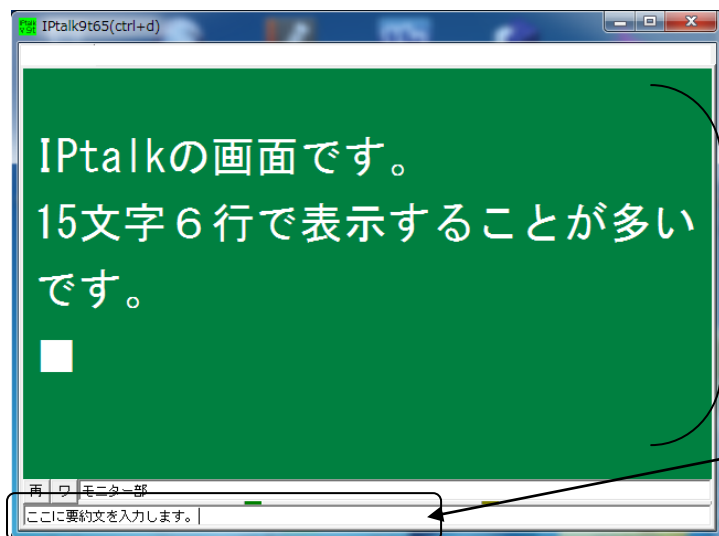


2017年度の全国統一要約筆記者認定試験が、2018年2月18日に行われ、手書き4名、パソコン3名の合計7名の方が受験されました。事前学習会も11月25日から2月17日まで計11回実施され、皆さん熱心に取り組みました。昨年度の合格者は、パソコンの柳井紀子さん1名だけでしたが、受験者の皆さんの努力が報われるよう、今年はたくさんの方が合格されることをお祈りしています。

さて、今年からパソコンで使用しているソフト「IPtalk」が試験用にカスタマイズされました。普段派遣で使用しているものと、基本的には同じなのですが、機能が制限されており、より試験に特化された設定になっています。講座を受講中の方は、IPtalk 自体初めてで慣れないのに、試験用では「うまく使えない、勝手が悪い。」とかなり戸惑っていました。



このIPtalk、1999年から要約筆記用に無料配布されているソフトウェアです。LANで繋いで複数の方が同時に入力することが出来、自分以外の方の入力している内容が確認できます。派遣現場では「2人入力」といい、2人の筆記者が同時に入力して文を完成させていくのです。



これは、実際のIPtalk画面です。一番下に入力部があり、入力が終わり改行すると、上の画面に表示される仕組みです。

ここに入力した要約文を表示。

ここで要約文を入力。

また、IPtalkは入力だけでなく利用者に見てもらうためのソフトでもあります。要約文が表示されている上の部分のみを表示するパソコン（表示機）を別途準備し、利用者は表示機を介しての情報保障となります。

利用者が1名の場合は、目の前に表示機を置き、画面を見てもらいます。大会や講演会など大勢の方が対象のときは、表示機からプロジェクタを使ってスクリーンに投影します。

手書きの場合は書いているさまが画面に映し出されるので、利用者は1文字ずつ確認できますが、パソコンは文節、または文ごとの表示なので、筆記者が入力に時間がかかると、画面に何も表示されない、または一度に長文が表示されるなどの欠点もあります。ただ、文字の大きさにばらつきがなく読みやすい、長い用語も略さなくてよい、要約率が手書きより低くてもよい、などの利点もあり、字の上手下手に関係なくできるので、手書きに自信が無い方にオススメです。

2017年度 全国統一要約筆記者認定試験

2018年2月18日（日）寒さも和らぎ、ぽかぽかと過ごしやすい陽気の中、2017年度全国統一要約筆記者認定試験が実施されました。

今年は、手書きが4名、PCが3名の合計7名が受験しました。12月10日に行われた事前学習会の後、毎週集まり、合格した先輩方のサポートを受けながら勉強してきました。主に実技の練習をしていましたが、筆記試験の質問もたくさん出て、とても充実した時間でした。試験問題は回収されるので、私の記憶を頼りに、覚えている範囲で少しだけ紹介します。



◆筆記試験内容

第1問は例年、第1講の「オーシオグラム」か「耳の構造」から出題されます。今年は耳の構造と働きについてでした。



きっちり勉強しておかないと解けない問題だと痛感したのが、歴史上の出来事などの項目を年代順に並び替える問題が5問。一番古いのと一番新しいのはわかるのだけど、真ん中がどっちだろう？と悩みながら解答しました。

対応問題は2問。どちらも実際の現場で起こりそうな事例でした。

1問目は、派遣現場で知り合いに会った時の対応を問う問題でした。実際に起こりうることで、要約筆記を知らない知人に対して、失礼にならない対応をし、なおかつ守秘義務も守らなければいけません。どう対応するのが正解なのか、難しいと思いました。

2問目は、派遣時の打合せ内容を理解しているかを問う問題だったようです。セリフのように解答するというのが条件で、内容はすぐに浮かびましたが、「セリフのように」書く方法に迷い、難しく感じました。

◆実技試験内容

実技試験は、1問目が資料付き、2問目は資料なしでした。

〈手書き〉のノートテイクは「障害者差別解消法」について、ロールはパンダのお話でした。

〈PC〉の1問目は「ソーシャルワーク」について、2問目は、都市と漁村の交流についてのお話だったと思います。

実技試験は毎年、福祉にかかわる問題と、そうでない問題が出るようです。私はPCの受験でしたが、ゆっくりとした話し方で、聞き取りやすかったと思います。



受験者が全員合格できますように。（南波 史恵）

新会員さん紹介

①名前（ふりがな） ②お住まいの地域 ③趣味 ④要約筆記を始めたきっかけ



- ① 弘蔵 裕子（ひろくら ゆうこ）
- ② 大分市 中央地区
- ③ 大正琴
- ④ お友達に誘われて、勉強になると思い申し込みました。これからもよろしく願いいたします。



- ① 宮成智子（みやなりともこ）
- ② 明野地区
- ③ これが一番困る(´_`) 無趣味

以前からず〜っと「要約」という事に興味があったのですが、たまたま仕事と学習日の曜日が合わず、今回土曜日講習だったので、思い切って受講してみました。
一言：まったくついて行っていませんが、長く関わらせて頂きたいと思っています。
どうぞよろしく願いします。



合格おめでとう!

昨年度登録要約筆記者認定試験に柳井紀子さんが合格しました。掲載が遅れたことをお詫びします。

第50回「耳の日記念」大分県ろうあ者福祉大会において、大分県聴覚障害者協会から当会に感謝状をいただきました。

1年間あいがとう

会長	小寺 淑子
副会長	久松久仁子
事務局	小野 和子
会計	河井 美恵
企画部	青木 奈津子
研修部	
手書き	久保田 安紀
P C	三重野真由美
広報部	南波 史恵
監査	津田 文子
監査	山口 智子

（敬称略）



定期総会の日時が決まりました！
4月21日(土)13時～
大分県総合社会福祉会館 視聴覚室
みなさんぜひご参加を！！

編集後記

ぽかぽかの陽気から、春の訪れを感じる今日この頃。桜の蕾も膨らんできており、今からお花見が楽しみですね。

ところで、来年度、陽ざしの会は30周年を迎えます。ささやかながらイベントも開催予定です。会員一丸となって盛り上げていきましょう！

今号にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

（南波 史恵）